

阿南安芸自動車道 海部道路の早期事業化を!!

平成24年2月定例会(付託)
防災対策特別委員会資料(その2)
県土整備部

「命の道」

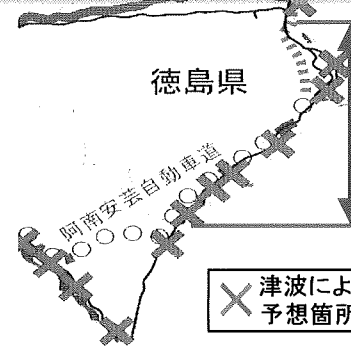
～「安全で安心な道路」の確保に向けて～

南海地震(単独)の
発生確率
今後30年以内
60%程度

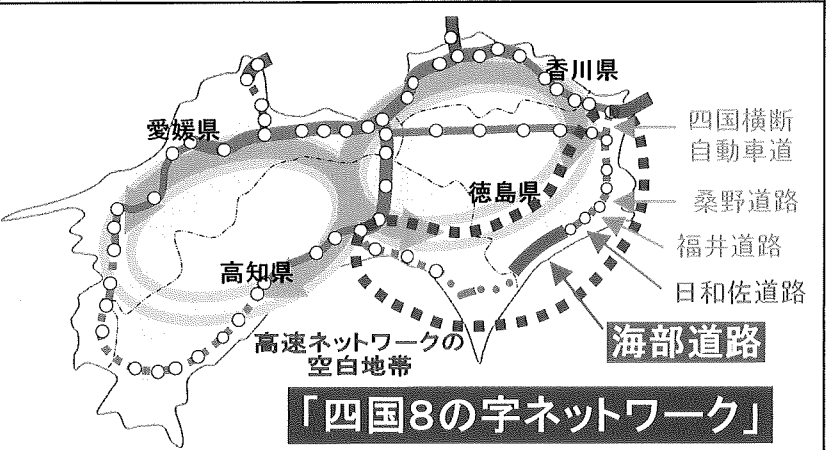
「三連動」
地震なら

東海地震(単独)の
発生確率
今後30年以内
88%に上昇

「東海・東南海・南海」三連動地震発生時における一般国道55号の状況



美波以南は、約4割
牟岐以南は、約6割
が津波浸水予測地域を通過
迂回路は無し、孤立化が想定



「四国8の字ネットワーク」

【美波町】
・津波浸水区域を回避
・薬王寺西側をショートカット

【寒葉峠】
・奥湯付近と「牟岐バイパス」を結ぶ
寒葉峠越えのルート

【牟岐町】
・「牟岐バイパス」を活用、津波浸水区域を回避

【八坂八浜】
・沿岸部の津波浸水区域を回避
・一般国道55号に平行した近傍山側ルート

【浅川】
・沿岸部の津波浸水区域を回避
・現道からやや奥まった山側ルート

【旧海南町】
・広範囲に浸水する平地部を回避
・集落から大きく離れず、浅川と
旧穴喰町を結ぶルート

【那佐】
・大津波を受ける沿岸部を回避
・浅川と旧穴喰町を結ぶルート

【旧穴喰町】
・大津波を受ける海側平地部を回避
・集落から大きく離れない山側平地部ルート

【ルート選定の基本的考え方】

- ①原則として「津波浸水区域」を回避
 - ・浸水区域を通過する場合は、津波の影響を受けない高さを確保
 - ・可能な範囲で、「避難場所」、「陸の防潮堤」としての機能にも配慮
- ②津波避難や利用環境等を勘案し、集落から大きく離れない計画
- ③現道とは別に、速達性の高い自動車専用道路として整備
(「牟岐バイパス」は活用)
- ④現道とのアクセスを確保するため、適切にICを設置

凡例

——	国道55号
——	国道193号
——	主要地方道, 一般県道
——	町道
——	林道, 農道
●	防災拠点
●	病院
○	提言ルート

最大浸水深(m)

■	10 m以上
■	6 - 10
■	5 - 6
■	4 - 5
■	3 - 4
■	2 - 3
■	1 - 2
■	0.5 - 1
■	0 - 0.5

徳島県暫定津波浸水予測図(平成24年)
【最大津波モデル】



東北地方太平洋沖地震では
海陽町全域15kmが約21時間全面通行止め

【日和佐港】
最大津波高 10.8m

【牟岐漁港】
最大津波高 5.7m

【浅川湾】
最大津波高 8.2m

【穴喰海岸】
最大津波高 18.7m

海部道路 35km